

〔白石紳書七〕一又順元云其加州の家人青地藏人が先祖青地四郎左衛門といふは青地駿河守の事也此四郎左衛門若き時に夢に朝鮮に渡りし事を歴々と見て珍敷事也とて夢さめて後みづから其山海の景を夢に見し様に寫して枕屏風となしたり十年許り後に朝鮮軍の事初りて青地かの國に越くべしかる珍敷事こそなけれ昔夢に見し所に似たる事もやある試の爲也とてかの屏風の繪を引はなして持行て見しに少も違ふ所なし爰よりいかほど過なば川有べしといふに川有又いかほど行なば山有べしと思ふに山あり昔夢見し跡によりて大きに利有事共有し誠に奇夢也と云今青地が家に其圖やは有と問にいかにや成けん其圖とおぼしき物はなしと云也と云々

〔古今和歌集^{戀十五}〕題しらす

けんせい法し

唐も夢にみしかば近かりき思はぬ中ぞはるけかりける

〔十訓抄七〕粟田左大臣在衡^略此人は若くより鞍馬を信じ奉りて參られけり文章生のととき彼

寺に參詣して正面の東の間にして禮をなす間十三四歳の童傍に來て同じく拜を參らす^略中

心ならず禮を參らするほどに三千三百三十三度にみつ時此童うせぬ在衡奇異の思ひをなしながらくるしきまゝにいさかうちまどろみたるほどに有つる童天童のごとく裝束して御

帳の内より出來て云官は右大臣歳七十二と云々そのち昇進こゝろのごとし左大臣七十三の年彼寺に詣で申ていはく往日右大臣七十二と示現を蒙りしに今既にかくのごとしと毘沙門又夢中にのたまはく官は右大臣までに有しかども奉公人にすぐるゝによりて左にいたる命はあしく見たり七十七也とはたして此年失給ひにけり

〔今昔物語^{十七}〕依地藏示從鎮西移愛宕護僧語第十四

今昔鎮西肥前ノ國ノ背振ノ山ト云フ所ハ書寫ノ性空聖人ノ行ヒ給ル所也山深クシテ貴キ事